

下松市・記者発表（配布）資料

令和8年5月13日

部 課 名	課 長	担 当	連 絡 先 (直 通)
地域振興部地域交流課	守政 彩子	國居 将和	0833 (45) 1820
1. 件 名	2026 Blacktown Junior International Challenge 結果報告会		
2. 目 的	市内スポーツ少年団（ソフトボール競技）の指導者及び当時スポーツ少年団に所属していた選手が令和8年3月27日～29日にオーストラリアで開催されたソフトボール国際親善大会「2026 Blacktown Junior International Challenge」において優勝を収め、その結果報告のため、市長訪問を行うもの。		
3. 日 時	令和8年5月20日（水）16時00分～		
4. 場 所	下松市役所3階 市長応接室		
5. 内 容	1 開会の言葉 2 出場関係者挨拶 3 市長お祝いの言葉 4 写真撮影 5 歓談 6 閉会の言葉		
6. 出席者 (敬称略)	【花岡スポーツ少年団】 指導者 廣實 久司（ひろざね ひさし）※女子代表チーム監督 【末武スポーツ少年団】 指導者 高松 学（たかまつ まなぶ）※男子代表チームコーチ 【選手（男子代表チーム）】 海野 楓馬（うんの ふうま）※出場時は小学6年生 高松 凌大（たかまつ りょうた）※出場時は小学6年生 【下松市】 下松市長 國井 益雄 地域振興部長 真鍋 俊幸		
7. その他	大会要項・大会結果は別紙のとおり		

2026 Blacktown Junior International Challenge 要項

1.目的 本大会はソフトボールを愛する日本・オーストラリア・ニュージーランドの小学生達がお互いの親睦を図ると共に、ソフトボールによる国際交流と、それらにより子供たちが国際人として育つことを目的とする。

2.主催 ソフトボール ニューサウスウェールズ
 3.共催 日本小学生ソフトボール連盟
 4.期日 令和8年3月25日(水)～31日(火)
 5.会場 オーストラリア(ブラックタウン・オリンピックパーク)
 6.参加チーム 日本・オーストラリア・ニュージーランド

7.競技規則 (1) 本大会特設ルールによる。
 (2) 試合はリーグ戦方式とし、7回又は60分の制限時間とし、60分経過後は新しいイニングに入らない。
 (3) 投手の投球距離は、男子(13.11m)、女子(12.19m)とする。
 (4) 捕手はプロテクターは必ず着用する。
 (5) その他、球場ごとの特設ルールは審判員が指示する。

8.審判員 球審 主催者が用意する公式審判員とする。(球審と2塁審の2名)

9.試合球 2号革製ボールとする。(主催者で提供)

10.開会式 8時30分から開会式を行う。

11.その他 (1) 本大会の受付は、球場入口の大会本部で行う。
 (2) 本大会での選手等の負傷については、主催者は応急処置のほか責任は一切負わない。
 (3) 本部の打順表にメンバーを書き入れ、審判員に30分前に提出すること。
 (4) 先行後攻決定
 ・両チームのキャプテン(そうでない他の選手の場合もあり)間でコイントス(ハズ&テイル)により先行後攻を決定する。
 ・いずれかのチーム代表がコインをトス、もう一方がコインが地面に落ちる前にコールする。(ハズまたはテイル)。
 ・コールしたとおりの面が出れば、コールしたチーム代表が先攻、後攻いずれかを選択できる。
 外れた場合はコイントスをしたチームが選択権を持つ。
 (5) 試合前のフィールディングは行わない。
 ・試合開始前の整列はなし。予定時間になったら後攻めチームから守備につき始める。
 (6) 試合用具の検認は審判員が確認し、不要と認められたものは本部で預かり試合終了後返却する。
 (7) ヘルメットは必ず着用すること。
 (8) 胸パットは必ず着用すること。(捕手は打席に立つ場合必要であり、ユニホームの上から着用)
 (9) ベンチ入りは抽選組合せ番号の若い方が一塁側。
 (10) 各選手の健康管理はチーム代表者の責任において対応すること。
 (11) 各自・各チームの出したゴミは必ず持ち帰ること。(会場にはゴミ捨て場がありません)
 (12) 5ランルール
 ・攻撃チームが同一イニング内に5得点をあげた時点で攻撃終了し、攻守が入れ替わる。
 (いかなる状況に関わらず得点も5点で正式に記録)。
 ※審判は基本得点を一切カウントしていないため、5点目が入っても5ランルールのコールをしない場合がある。
 ※必要に応じて審判に同ルールの適用を促す(審判が得点状況を把握していないケースあり)。

【ケース1】

	1	2
先攻	1	1
後攻	2	

・2回表攻撃中に試合終了
 ・1回裏に戻り、後攻チームが2対1で勝利
 (勝敗に影響を与える為得点が加算されない)

【ケース2】

	1	2
先攻	1	1
後攻	4	

・2回表攻撃中に試合終了
 ・1回裏に戻り、後攻チームが4対1で勝利
 (勝敗に影響を与えないが得点も加算されず)

	1	2
先攻	1	3
後攻	2	

・2回表攻撃中に試合終了
 ・1回裏に戻り、後攻チームが2対1で勝利
 (勝敗に影響を与える為得点が加算されない)

	1	2
先攻	1	1
後攻	2	1

・2回裏攻撃中に試合終了
 ・2回表の得点が計上され、後攻チームが3対2で勝利
 (後攻チームの3対2が勝ちとなる)

	1	2
先攻	1	2
後攻	2	1

・2回表攻撃中に試合終了
 ・1回裏に戻り、後攻チームが2対1で勝利
 (勝敗に影響を与える為得点が加算されない)

	1	2
先攻	4	0
後攻	1	1

・2回裏攻撃中に試合終了
 ・1回裏に戻り、先攻チームが4対1で勝利

(13) 試合中の練習について

・バッテリ間で投球練習を試合中に行う事があるが、グラウンド内での練習は一切禁止。グラウンド併設の所定の練習場のみで許される。
 ※グラウンド内での練習はファールボールが直撃するなど怪我を伴う危険性があるためである。グラウンド内で練習行為が発覚した場合、審判団によりその場で注意喚起を促され、試合中断となる(試合進行の妨げ)

(14) オールスター戦

・試合はD1(メインスタジアム)
 ・オールスターゲーム直前まで、通常試合を行っているため、間際にならない様メンバー表の準備。
 ・試合時間は75分。(選手紹介場内アナウンス、国家斉唱等)
 ・呼ばれた選手は、ベンチより出て一礼して、観客席の向かって挨拶してから、ピッチャーマウンドに駆け足で向かい、バックネット&観客席に向かって3塁&1塁ベースに向かって、既に並んでいる選手にハイタッチしながら並んでいく。

大会結果

《大会名》

2026 Blacktown Junior International Challenge

《開催日》

令和8年3月27日～令和8年3月29日

《会場》

Australia Sydney Blacktown International Sports park

※降雨により Jacqui Osmond softball Center へ会場変更

※会場変更により開催日変更（令和8年3月28日～29日）

《結果》

【男子】 JAPAN Phoenix 優勝

選手 高松凌大(末武)、海野楓馬(花岡)

スタッフコーチ 高松学

JAPAN Phoenix 6 - 2 Slammers

6 - 5 Sliders

13 - 3 NSW Strikers

10 - 1 ACT

1 - 0 New Zealand

【女子】 JAPAN Dreams 優勝

スタッフ監督 廣實久司

JAPAN Dreams 3 - 0 NSW Slammers

10 - 0 NSW Sliders

2 - 0 NSW Strikers

8 - 0 ACT

11 - 1 New Zealand Black

6 - 0 New Zealand Grey